

2022.3.16

ミラノサローネへのオマージュ「マジック・ボックス」

ミラノサローネは、その価値、ミラノとの深い絆、そしてミラノを偉大にした企業やデザイナーを世界へアピールしています。そして今年、11人の映画監督が、王宮「カリアティディの間」で、イベントの質の高さ、革新性、創造性、そして何よりその美しさを、感動的で多感覚な物語体験を通して語ります。

第60回を迎えるサローネ・デル・モービレ・ミラノ(以下、ミラノサローネ)は、独自のアプローチでその歴史を語り、創立以来の価値観を世界中の人々に知らしめました。6月7日から17日まで、王宮のカリアティディの間で、「マジック・ボックス」が開催されます。サイトスペシフィックなオーディオビジュアルのインスタレーションは、サローネのDNAの一部である「マニフェスト」に掲げる11人の映画監督による11の言葉、「感情」、「企業」、「品質」、「デザイン」、「ネットワーキング」、「コミュニケーション」、「文化」、「若者たち」、「創意工夫」、「ミラノ」「匠の技」に捧げられたものです。フランチェスカ・アルキブージ、パッピ・コルシカート、ダヴィデ・ランペッロ、ウィルマ・ラバーテ、ブルーノ・ボツェット、ルカ・ルチーニ、クラウドイオ・ジョヴァンネージ、ジャンニ・カノーヴァ、ドナート・カリージ、ダニエレ・チプリ、ステファノ・モルディーニ、といったイタリアの著名監督たちが物語を構成します。それは私たちの驚きの感覚を呼び覚まし、忘れがたい体験を生み出し、そして映画の言葉を通して、美しいミラノの街と共にサローネ 60周年を祝うことを目的としています。

このインスタレーションでは、高さ 6m、奥行き 24m の巨大な「カメラ・オブスクラ (暗室)」が登場し、映画以前の光学機器の幻想的で想像力に富んだ世界からインスピレーションを得て、3 幕構成のパフォーマンスが展開されます。コンセプトと製作総指揮は、ランペッロ&パートナーズ・クリエイティブスタジオのダビデ・ランペッロです。

アーティストック・ディレクター兼クリエイティブ・プロデューサー

ダビデ・ランペッロのコメント:

「イタリアのクリエイティビティに関する“空想辞典”を作ることをイメージしました。映画の魔法とサローネの価値観が持つ並外れた喚起力を融合させるというアイデアです。10人の偉大なイタリア人監督によって解釈された短編アートハウス映画で、前例のない創造性のアンソロジーを作り上げようと考えたのです。そして、没入感の中で私たちは、映像に圧倒されるような本物の『マジック・ボックス』を想像し、その中に自分の夢を投影しました。最後に会場となる王宮の華麗なカリアティディの間を見上げれば誰もが感嘆の声を上げることでしょ。

暗室に足を踏み入ると、まるで美術館にいるかのような優雅な空間が広がります。部屋にある名画は、物語の比喩的な鍵になるのです。壁が暗くなると、この『マジック・ボックス』は映画館に変身し、11人の偉大なイタリア人監督による11本の映画が上映されます。それぞれの監督が、ミラノサローネのマニフェストの言葉を独自のスタイルで解釈した短編映画です。結末にはまさに“クー・ドゥ・テアトル(どんでん返し)”が待っています。」



PALAZZO REALE



LA SCATOLA MAGICA (マジック・ボックス)

会場: Sala delle Cariatidi
Palazzo Reale
Piazza del Duomo 12, Milano

期間: 2022年6月7日～17日 (一般公開)
10.30 ~ 19.00

クレジット

クリエイティブ & エグゼクティブプロダクション - Rampello & Partners for the Salone del Mobile.Milano
コンセプト&アートディレクション- Davide Rampello
プロジェクトマネージャー - Tania Di Bernardo
アーキテクチュアル・プロジェクト - Alessandro Colombo
セットデザイン - Mekane
照明デザイン - Marco Filibeck
グラフィックデザイン - Studio FM
ビデオ - Punto Rec Studios

**所要時間約 20 分(毎回、入場制限し対応します)*

プレスお問い合わせ先:

山本幸 Yuki Yamamoto
yuki@milanosalone.com
milanosalone.com

International press info:

Marva Griffin-Patrizia Malfatti
press@salonemilano.it